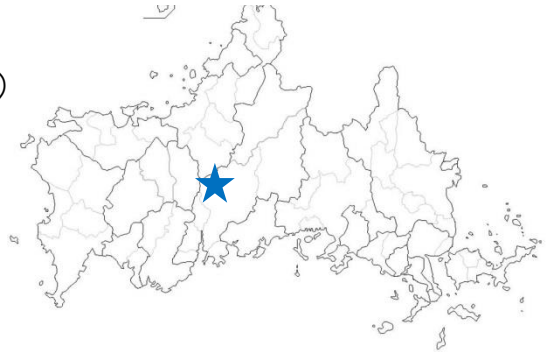


平成 30 年度 山口県日本型直接支払推進協議会会長賞
中山間地域等直接支払交付金部門 受賞

吉敷畑集落協定(山口市)

- (1) 協定農用地面積 : 18.2ha
田 (急傾斜 18.0ha、緩傾斜 0.2ha)
水稻、麦、野菜、そば
- (2) 交付金額 : 380 万円
うち共同取組活動分 45%
体制整備 (C要件)



地区の概要

山口市の北西部に位置する吉敷畑地区は、西鳳翫山麓に農家が点在し、米を中心に麦、そば、葉野菜などを栽培する純農村地域である。集落の高低差は 200m 近くあり、急傾斜地の約 140 枚ある棚田で営農活動が行われている。

棚田は、魅力ある景観により「やまぐちの棚田 20 選」に選定されており、農家だけでなく地域として、棚田での農業を支えているが、高齢化が進行する中、長大な法面の草刈りが保全活動の大きな課題となっている。



主な取組内容

平成 9 年に吉敷畑営農改善組合を立ち上げ、平成 24 年度からは農事組合法人吉敷畑を設立し、機械の共同化や無人ヘリコプターによる共同防除体制を確立した。また、鳥獣害防止柵を外周全てに設置するなど、集落が一体となって課題解決に努め、農地や地域を守っている。

平成 27 年から交付金を活用して植栽した国道沿いのシバザクラは、見事に開花し、棚田を地区内外に PR することができた。シバザクラは、法面管理の省力化にもつながり、地域の活性化にも大いに貢献している。



平成 30 年度 農村環境の未来を考える研修会 vol.11

開催要領

日時 平成 30 年 10 月 31 日 (水) 10:00~12:00

場所 山口ゆめ花博 維新体験館
(山口きらら博記念公園 多目的ドーム)

主催 山口県日本型直接支払推進協議会

趣旨

日本型直接支払制度は、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するための地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動の支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能を次世代に継承するとともに、担い手農家に対する農地集積という構造改革を後押しするものである。この研修会は、本対策に取り組む多くの県内の活動組織の関係者の知識と技術のステップアップを目的に開催する。

参加人数 1,000 人

オープニングセレモニー 9:30~

和太鼓 鼓波会 (長門市黄波戸)

1. 開催行事 10:00~

山口県日本型直接支払推進協議会長 挨拶

中国四国農政局長 祝辞

山口県農林水産部長 祝辞

山口県日本型直接支払推進協議会会長賞 表彰

2. 事例報告

テーマ 「広域化による地域づくり」

平成 29 年度多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長最優秀賞受賞

講演者 長門市依山地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会 会長 三浦 辰美

3. 基調講演

テーマ 「山口の田舎は宝の山」

講演者 特定非営利活動法人えがおつなげて 代表理事 曾根原久司

4. 閉会